

## 完成間近な新庁舎

町議会議員ら視察

役場新庁舎の建設現場視察が12月21日、町長や助役、町議会議員らによって行われました。視察は、1月末の完成を目指して進めている新庁舎建設の進捗状況を把握するため行われたものです。進捗率が約90%の建物内では、内装工事などが計画どおり進んでおり、完成が間近となりました。また、庁舎敷地内では、敷地全体を緑豊かな公園のように整備するための外構基礎工事などが行われていました。



## シクラメンで交通安全啓発

シートベルト・チャイルドシート着用キャンペーン



町交対策協議会では12月15日、上江黒の県道麦倉川俣停車場線でシクラメンを配りながら交通安全の啓発を行いました。このキャンペーンでは、女性ドライバークラブ、東小交通少年団(初の街頭指導)、関係者ら約30人が、町特産のシクラメン140鉢をドライバーに手渡し、夕暮れ時の早めのライト点灯と、シートベルト・チャイルドシートの着用を呼び掛け交通安全の街頭指導を行いました。

## 練習の成果を披露

明和幼稚園

明和幼稚園では12月20日、年中児57人が郷土芸能である八木節を披露しました。これは園内研修の一環である、地域のかたとの交流と伝統文化に触れ、豊かな遊びができる幼児の育成が目的。この日のために園児たちは、6月から毎月清水栄二さんの指導で八木節を練習してきたものです。清水さんは「リズムを取りながらよく踊れました」と練習以上の成果に大きな拍手を送っていました。



## 町長らが激励

歳末慰問



町では、ひとり暮らしや寝たきりのお年寄り、障害者や特定疾患患者の皆さんなどを対象に12月13日、歳末慰問を行いました。斎藤町長、浦野収入役、関係職員らが4班に分かれ、町内272人のご自宅を訪問し、慰問品や見舞金を贈り激励しました。町長から声をかけられたお年寄りは「ありがとうございます。皆さんののおかげで元気に過ごせます」と笑顔で話していました。